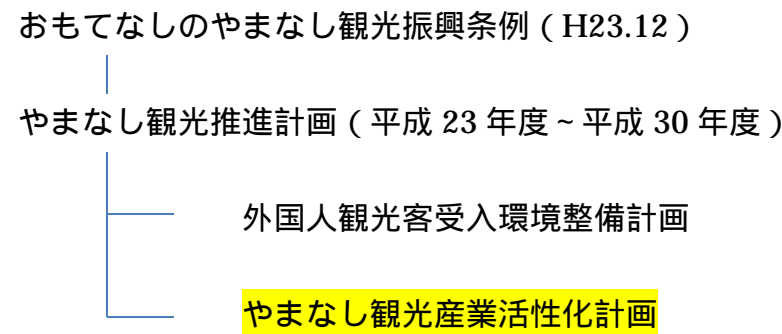


【計画策定の趣旨】

観光産業は、宿泊・飲食（サービス業）、交通（旅客運輸業）、土産物（製造、小売り業）など多岐にわたり裾野が広い産業で、地域経済や雇用への影響が大きい産業
観光産業は、農業、林業、地場産業等の産業連携の核として地域活性化に貢献する重要な産業
生産性の向上や人材育成など、産業としての成長に欠くことのできない課題に積極的に取り組むことが必要

【計画の位置づけ】

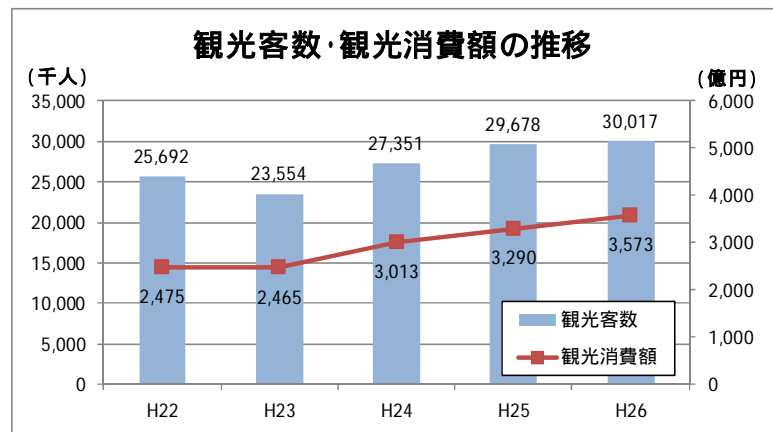


【策定経過】

検討委員会（委員長：立教大学観光研究所長 東教授）
・県内大学、ホテル旅館、交通、旅行、土産、飲食店等の有識者・業界代表者
業界アンケート調査、観光GDP・雇用誘発効果分析
・県内観光関連企業 250 社から回答
シンポジウム（関係者、県民の意見）
・1/22 観光産業活性化シンポジウム 200 名参加

【現状と課題】

1 現状



(単位: 千人、億円)

	H22	H23	H24	H25	H26
観光客数	25,692	23,554	27,351	29,678	30,017
観光消費額	2,475	2,465	3,013	3,290	3,573

(出典: 山梨県観光入込客統計調査)

観光GDP 1,995 億円 (県産業GDPの 7.4%)
雇用誘発効果 32,383 人 (県全体雇用者の 9.5%)

2 課題

短い滞在時間 (日帰り観光客が 75%、中央道渋滞)
季節、曜日で大きな波がある入り込み状況
ホテル旅館の客室稼働率 H26: 43.3% H27: 48.3%
全国 21 位の付加価値生産性 (正規雇用の妨げ)

【重要性と将来性】

経済規模 (人口) における**宿泊者数は全国 2 位**
経済規模 (人口) における**観光消費額は全国 1 位**
宿泊・飲食業の全産業**従業員比率(11.1%)は全国 2 位**
地域産業や地域社会と併に成長する産業

【目標】

	(H26)	(H30)
観光消費額	3,573 億円	3,989 億円 (11%増)
観光GDP	1,995 億円	2,227 億円 (11%増)
雇用誘発効果	32,383 人	36,157 人 (11%増)

【計画期間】

平成 28 年度～平成 30 年度
(平成 31 年度以降もやまなし観光推進計画の見直しに連動して一部修正と目標のローリングを行う)

【基本方針と主な取り組み】

1 観光産業の「稼ぐ力」を高め、「働く魅力」を高める

(1) 地域の取り組み

国内旅行の促進 (滞在価値、滞在時間の拡大)

- 地域の価値創造 (地域資源を観光資源へ)
- 既存資源の再発掘、情報発信 (神社仏閣等)
- 滞在・周遊観光の促進 (リゾート型、周遊型)
- 地域資源のネットワーク化と情報発信
- 宿泊施設での情報発信機能の強化
- 冬の観光の強化 (入込客数の平準化)
- 国内の新たな地域や海外からの観光客の誘客
- 平日の観光の強化 (入込客数の平準化)
- 修学旅行やMICEの誘致促進

インバウンド観光の促進 (受入環境整備、消費拡大)

- 多言語化等受入環境の整備 免税店の拡充支援
- 人材育成・人材確保**
- 人材育成
- 山梨県立大学観光専門コース等との連携

- 地域限定特例通訳案内士の育成及び活用
- 人材確保
- COC+等と連携したインターンシップの推進

(2) 企業の取り組み

経営環境の確立 (労働環境、施設整備、金融)

- 経営支援
- 観光産業に特化した支援体制の検討
- 民間金融機関等の観光支援策等への協力
- 金融支援
- 県融資制度、県金融相談窓口の活用
- 民間金融機関による地域活性化を目的としたファンド等の活用促進

他産業と連携した付加価値、経済波及効果の拡大

- 宿泊施設等における県産食材の使用促進
- 県産食材を使用した「食」の全国PR (イメージアップ)

2 長期的視点での観光財産の創出

- (1) おもてなしマインドの醸成 (2) 観光インフラの整備
- (3) 観光の重要性、将来性等の情報発信

3 推進体制の整備

- やまなし観光推進機構のDMO候補法人への登録推進
- 県内各地のDMOに対応する取り組みへの支援